

Newsletter of Japanese Coral Reef Society



contents

page

日本サンゴ礁学会第24回大会 プログラム	2-8
サンゴ礁関連本紹介	8



JCRS
24th
meeting

日本サンゴ礁学会 第24回大会

2021年11月27日(土)～11月29日(月)
オンライン開催

大会会長：荒井 晃作
大会実行委員：井口 亮, 水山 克, 山本 将史, 鈴木 淳
(産業技術総合研究所)



詳細は学会ウェブサイト
<http://www.jcrs.jp/> の
大会案内をご覧ください。

大会スケジュール

11月27日(土) 大会1日目		会場
9:00-12:00	理事会・代議員総会 Board of Directors・General Assembly	Zoom
13:00-17:30	口頭発表① Oral presentation ①	Zoom
18:00-19:30	自由集会・オンライン企画① Mini-workshop, Online event ①	Zoom、公開

11月28日(日) 大会2日目		会場
9:00-11:15	口頭発表② Oral presentation ②	Zoom
11:30-13:30	ポスターセッション/小・中・高校生によるサンゴ礁研究 ポスター発表/サンゴ礁保全活動ポスター発表 Poster presentation/Poster presentation by Elementary, junior, and senior high school students / Reef Conservation groups	SpatialChat
13:45-14:45	口頭発表③ Oral presentation ③	Zoom
15:00-17:45	公開シンポジウム Public symposium	Zoom、公開
18:00-20:00	会員意見交換会・オンライン懇親会 JCRS public meeting・Welcome ceremony	Zoom

11月29日(月) 大会3日目		会場
9:00-11:00	口頭発表④ Oral presentation ④	Zoom
11:30-13:30	ポスターセッション/小・中・高校生によるサンゴ礁研究 ポスター発表/サンゴ礁保全活動ポスター発表 Poster presentation/Poster presentation by Elementary, junior, and senior high school students / Reef Conservation groups	SpatialChat
13:45-14:45	口頭発表⑤ Oral presentation ⑤	Zoom
15:00-16:30	自由集会・オンライン企画② Mini-workshop, Online event ②	Zoom、公開
16:40-18:00	授賞式・会員意見交換会 JCRS awards ceremony	Zoom

■大会受付

- 参加登録された方々に、Zoom と SpatialChat の接続 URL を送ります。公開イベント(自由集会・オンライン企画・公開シンポジウム)の Zoom 接続 URL は学会ウェブサイトにて公開します。Zoom はアプリをダウンロードし、最新版にアップデートされることをお勧めします。

■口頭発表

- Zoom で行います。
- 講演時間は 15 分(発表 12 分 + 質疑応答 3 分)です。
- 発表に使うソフトは原則 "Microsoft PowerPoint" とします。
- 各自のパソコンにて画面共有をして発表していただきます。大会一週間前をめどに、希望者のみに事前に接続テストを行います。
- 学術大会若手発表賞へエントリーされている発表には講演番号に「*」が付いています。

■ポスター発表

- SpatialChat で行います。
- ポスターは全期間掲示、コアタイムは 28 日と 29 日の 11:30-13:30 です。
- ポスターは、A0 横サイズで作成してください。文字は 36 ポイント以上、1980×2800 ピクセル以上で作成下さい。
- ポスターファイルは事前に実行委員会にお送り下さい。SpatialChat への貼り付けは実行委員会で行います。
- 学術大会若手発表賞へエントリーされている発表には講演番号に「*」が付いています。

■口頭発表・ポスター発表プログラム

- 次ページ以降をご参照下さい。

■休憩・談話・懇親会スペース

- SpatialChat 内に準備する予定です。

■授賞式・会員意見交換会

- 大会参加者のみ限定となります。

大会プログラム

■ 1日目 11月27日(土) / 27th November (Sat)

代議員総会・理事会・各種委員会 / Board of Directors・General Assembly

【会場 / Location】 Zoom

9:00-12:00 理事会・代議員総会

口頭発表 ① 13:00-17:30 / Oral presentation ① 13:00-17:30

【会場 / Location】 Zoom

座長 (Chair) : アゴスティーニ シルバン, 深見 裕伸, 中村 隆志, 山崎 敦子

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-1	13:00-13:15	サンゴ被覆性海綿 <i>Chalinula nematifera</i> の色彩および共生真菌	山城 秀之, 伊勢 優史 (琉球大・熱生研), Siti N. AINI, Ritzelle ALBELDA (琉球大・院・理工)
O-2*	13:15-13:30	Changes in the maturity stage of the coral-killing sponge <i>Terpios hoshinota</i> in Okinawa Island, Japan	Siti N. Aini (Graduate School of Engineering and Science, University of the Ryukyus), Yurika Hirose (Environmental Partnership Council, Tokyo, Japan), Hideyuki Yamashiro (Sesoko Station, Tropical Biosphere Research Center, University of the Ryukyus)
O-3	13:30-13:45	リモコンボートを用いたサンゴのモニタリング技術開発とAIによるサンゴ分類の検証結果について	片山 美可, 米澤 泰雄, 藤家 亘, 川島 祐人 (国際航業 (株)), 鈴木 豪 (国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所, 完山 暢, 米山 正樹 ((一社) 水産土木建設技術センター), 首藤 敦, 中瀬 聡, 佐々木 貢 (水産庁)
O-4	13:45-14:00	26-year high spatiotemporal resolution hindcast simulation for reproducing the coral reef environment in Sekisei Lagoon, Okinawa, Japan	Takashi NAKAMURA (Tokyo Tech), Atsushi WATANABE (OPRI), Lawrence P. C. BERNARDO (Hokkaido Univ.), Oumou K. D. BA, Takafumi SAKUMA (Tokyo Tech), Soyoka MUKO (FRA), Kazuo NADAOKA (Tokyo Tech), Hiroyuki FUJIMURA (Univ. of the Ryukyus)

休憩

O-5	14:15-14:30	ハマサンゴ, その「コンサバ」なゲノム戦略	新里 宙也 (東大・大海研), 竹内 猛 (OIST・MGU), 善岡 祐輝 (東大・大海研), 多田 一風太 (総研大), 神田 美幸 (OIST・SQC), 井口 亮 (産総研), 日下部 誠 (静岡大), 佐藤 矩行 (OIST・MGU), 井上 麻夕里 (岡山大)
O-6*	14:30-14:45	同所的に生息するテーブル状ミドリイシ属サンゴの生殖と種分化	古川 真央 (琉大・熱生園・瀬底), 北之坊 誠也 (筑波大・下田臨海実験センター), 守田 昌哉 (琉大・熱生園・瀬底)
O-7	14:45-15:00	ゴカクキクメイシ染色体における新たな FISH マーカーの開発	川上 玲 (高知大院・農林海洋), 田口 尚弘 (高知学園大・管理栄養, 高知大・黒潮園), 目崎 拓真 (黒生研), Joshua Vacarizas (高知大・黒潮園), 伊藤 真澄 (北大・院水), 久保田 賢 (高知大・黒潮園)
O-8	15:00-15:15	Molecular cytogenetic analysis of seven <i>Acropora</i> species reveals chromosome number variations and polyploidy formation	Joshua VACARIZAS (Kochi University・Kuroshio Science Program), Takahiro TAGUCHI (Kochi Gakuen University・Faculty of Health Sciences), Takuma MEZAKI (Kuroshio Biological Research Foundation), Sam Edward MANALILI (Kochi University・Faculty of Agriculture and Marine Science), and Satoshi KUBOTA (Kochi University・Kuroshio Science Program)

休憩

O-9	15:30-15:45	海面画像に見られる沖縄の海辺景観の特徴	田代 豊, 伊澤 万理加 (名桜大・国際)
O-10*	15:45-16:00	ハワイのサンゴ骨格に記録された人為起源二酸化炭素の海洋吸収量の変動	小山 都照 (北海道大・院理, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 渡邊 剛 (北海道大・院理, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 野尻 太郎 (北海道大・院理), Samuel E. Kahng (University of Hawaii), 山崎 敦子 (九州大・院理, 喜界島サンゴ礁科学研究所)
O-11	16:00-16:15	具志頭・宝島の中期完新世離水サンゴ礁産化石 <i>Porites</i> spp. から推定する古海洋環境	岨 康輝 (喜界研), 本郷 宙軌 (和歌山県), 田中 健太郎 (東京大), 坂井 三郎 (JAMSTEC), 藤井 琢磨 (鹿児島大), 山口 耕生 (東邦大)

休憩

O-12	16:30-16:45	鹿児島県喜界島における最高位の完新世隆起サンゴ礁の内部構造と年代	佐々木 圭一 (金沢学院大), 杉原 薫 (筑波大), 勇 勝美 (喜界町), 古本 宗充 (名古屋大)
O-13	16:45-17:00	喜界島サンゴ化石の酸素同位体比による後期完新世の数百年~数十年スケール気候変動復元	Ko-Yuan CHUANG, 浅海 竜司, 高柳 栄子, 中森 享, 井龍 康文 (東北大学・院理)
O-14*	17:00-17:15	喜界島のサンゴ骨格の δ 18O と Sr/Ca 指標から復元した20世紀の降水量変動	小野寺 那智 (北大・院理), 渡邊 剛 (北大・院理, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 山崎 敦子 (九大・院理, 喜界島サンゴ礁科学研究所)
O-15*	17:15-17:30	ハワイ産サンゴ骨格中 Sr/Ca 比の水溫指標としての可能性	内山 遼平 (北大・院理), 渡邊 剛 (北大・院理, 喜界島サンゴ礁科学研究所), Samuel Kahng (University of Hawaii at Manoa), 山崎 敦子 (九大・理, 喜界島サンゴ礁科学研究所)

自由集会・オンライン企画 ① 18:00-19:30 / Mini-workshop, Online event ① 18:00-19:30

【会場 / Location】 Zoom

自由集会 ①	18:00-19:30	サンゴ移植を巡る多様な視座 ー日本サンゴ礁学会「造礁サンゴの移植に関するガイドライン」の改正に向けて	藤田 喜久 (沖縄県立芸術大学 / サンゴ礁保全学術委員会委員長)
オンライン企画 ①	18:00-19:30	サンゴ礁の研究室をオンラインで訪ねてみよう!	日本サンゴ礁学会教育普及啓発委員会 (担当: 北野 裕子 / 中島 祐一 / 山崎 敦子)

■ 2 日目 11月28日 (日) / 28th November (Sun)

□ 頭発表 ② 9:00-11:15 / Oral presentation ② 9:00-11:15

【会場 / Location】 Zoom

座長 (Chair) : 栗原 晴子, 山城 秀之

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-16	9:00-9:15	Understanding the impacts of OA on corals: contributions of the Shikine Island CO ₂ seep	Sylvain Agostini (筑波大・下田), Ben P. Harvey (筑波大・下田), Shigeki Wada (筑波大・下田) Koetsu Kon (筑波大・下田), Joshua M. Heitzman (筑波大・下田), Nicolas Floc'h (ESSAB, France), Marco Milazzo (Palermo University, Italy), Carlo Cattano (Palermo University, Italy; CNR, Italy), Fanny Houlbreque (IRD, New Caledonia), Tom Biscere (IRD, New Caledonia), Riccardo Rodolfo-Metalpa (IRD, New Caledonia), Jason M. Hall-Spencer (筑波大・下田; University of Plymouth, UK)
O-17	9:15-9:30	Patterns of Scleractinian Genera between Shallow and Mesophotic Zone in Komodo Region, Indonesia	Suharto M. ALI (Hasanuddin Univ. Study Program of Aquatic Resource Management, Faculty of Marine Science and Fisheries), Frederic SINNIGER (Univ. Ryukyus・Tropical Biosphere Research Center), Dewi Y. B. SATARI (*Hasanuddin Univ. Study Program of Aquatic Resource Management, Faculty of Marine Science and Fisheries), Nita RUKMINASARI (*Hasanuddin Univ. Study Program of Aquatic Resource Management, Faculty of Marine Science and Fisheries), Funty S. POLAPA (Universitas Muhammadiyah Palopo・Program of Marine Science), Jamaluddin JOMPA (Hasanuddin Univ.・Marine Science Department, Faculty of Marine Science and Fisheries), Saki HARII (Univ. Ryukyus・Tropical Biosphere Research Center)
O-18*	9:30-9:45	Evaluation Mozuku-Coral Interaction under Future Ocean Acidification	Vina Listiawati (University of the Ryukyus; Universitas Muhammadiyah Surakarta); Haruko Kurihara (University of the Ryukyus)
O-19*	9:45-10:00	沖縄本島備瀬の海草藻場における長期環境変動	佐野 亘 (九州大・院地球社会), 中野 義勝 (沖縄科技大), 横山 祐典 (東京大・大気海洋研), 藤田 和彦 (琉球大), 宮入 陽介 (東京大・大気海洋研), 磯村 尚子 (沖縄高専), 菅 浩伸 (九州大)
O-20	10:00-10:15	先進光学衛星 (ALOS-3) 搭載センサによるサンゴ礁内底質分類の事前評価	水上 陽誠 (JAXA 地球観測研究センター), 渡部 帆南 (RESTEC), 田殿 武雄 (JAXA), 佐川 龍之 (RESTEC)
休 憩			
O-21*	10:30-10:45	シャコガイ糞中の褐虫藻の形態変化	山本 心 (広島大・院統合生命), 山下 洋 (水産機構西海水研), 鈴木 豪 (水産機構西海水研), 佐藤 太紀 (広島大・院統合生命), 小池 一彦 (広島大・院統合生命)
O-22	10:45-11:00	Reproduction of the giant clam <i>Tridacna gigas</i> is compromised during bleaching stress	Sherry Lyn G. SAYCO (Univ. Ryukyus), Patrick C. CABAITAN (The Marine Science Institute, University of the Philippines), Haruko KURIHARA (Univ. Ryukyus)
O-23	11:00-11:15	金属ナノ粒子を曝露した褐虫藻の増殖挙動の評価・解析	藤村 花凜 (大阪府立大・院理), 岩崎 哲史 (神戸大・院理), 吉原 静恵 (大阪府立大・院理), 倉橋 健介 (大阪府立大・院理), 徳本 勇人 (大阪府立大・院理)

ポスターセッション / 小・中・高校生によるサンゴ礁研究ポスター発表 / サンゴ礁保全活動ポスター発表 11:30-13:30
Poster presentation/Poster presentation by Elementary, junior, and senior high school students Reef Conservation groups 11:30-13:30

【会場 / Location】 SpatialChat

□ 頭発表 ③ 13:45-14:45 / Oral presentation ③ 13:45-14:45

【会場 / Location】 Zoom

座長 (Chair) : 中村 崇

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-24	13:45-14:00	沖縄ジュゴン報道の変遷	茅根 創 (東京大院・地球惑星科学)
O-25	14:00-14:15	SDGs サンゴラーニングのご紹介	猪澤 也寸志 (エコガイドカフェ)
O-26	14:15-14:30	サンゴ礁生態系への配慮行動を促進するスキームのデザインと土壌保全ガイドライン	宮本 善和 (石西礁湖サンゴ礁基金), 安東 正行 (日本生態系協会), 玉城 重則 (水土里ネットおきなわ)
O-27	14:30-14:45	サンゴ礁、サンゴ群生と経済: covid-19の影響下で	齊藤 久美子 (和歌山大・経済)

公開シンポジウム「サンゴ礁研究の最前線ー地質から生態系までー」 15:00-17:45 / Public symposium 15:00-17:45

【会場 / Location】 Zoom

S-1	15:05-15:30	海洋地質学から見た沖縄島周辺のサンゴ礁の海の成立	荒井 晃作 (産業技術総合研究所)
S-2	15:30-15:55	サンゴ礁のリモートセンシング	山野 博哉 (国立環境研究所)
S-3	15:55-16:20	サンゴ骨格が記録する人新世の環境変化	横山 祐典 (東京大学大気海洋研究所)
休 憩			
S-4	16:30-16:55	サンゴの石灰化機構からみた陸域負荷の影響	安元 剛 (北里大学)
S-5	16:55-17:20	琉球列島の海底洞窟における生物多様性	藤田 喜久 (沖縄県立芸術大学)
S-6	17:20-17:45	サンゴ礁の生物多様性のマクロ生態学と保全計画	久保田 康裕 (琉球大学), 塩野 貴之 (琉球大学), 楠本 間太郎 (九州大学)

オンライン懇親会 18:00-20:00 / Welcome ceremony 18:00-20:00

【会場 / Location】 SpatialChat

18:00-20:00 前半は意見交換会、後半は懇談会・各種イベント等を予定。

■ 3日目 11月29日(月) / 29th November (Mon)

口頭発表 ④ 9:00-11:00 / Oral presentation ④ 9:00-11:00

【会場 / Location】 Zoom

座長 (Chair) : 湯山 育子, 樋口 富彦

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-28*	9:00-9:15	Genetic structure and Symbiodiniaceae types of two <i>Acropora</i> spp. that are expanding northward	Masumi Kamata, Nina Yasuda (Univ. Miyazaki), Akifumi Shimura (Univ. Miyazaki · Faculty of Agriculture), Yuko F Kitano (NIES), Akira Iguchi (AIST), Satoshi Nagai (FRA5), Take Yamakita (JAMSTEC), Takashi Nakamura (TITECH), Shota Shimizu (Field Science Center in TUMSAT)
O-29	9:15-9:30	高水温下で Irgarol 1051 に曝露したウスエダミドリイシ <i>Acropora tenuis</i> のヒートショックプロテイン (HSP) の発現解析	竹内 一郎 (愛媛大・院農), 清水 杏香 (愛媛大・院農), 具志 美香子 (愛媛大・院農), 石橋 弘志 (愛媛大・院農), 高山 弘太郎 (豊橋科学技術大・EIRIS, 愛媛大・院農)
O-30*	9:30-9:45	Sustained upregulation of cellular respiration associated genes during recovery in heat stressed <i>Acropora hyacinthus</i>	Sam Edward N. MANALILI (Kochi University), Dan Anthony U. BATAAN (Kochi University), Takuma MEZAKI (Biological Institute on Kuroshio), Shashank KESHAVMURTHY (Academia Sinica), Satoko SEKIDA (Kochi University), Dana ULANOVA (Kochi University), Tetsuya SAKURAI (Kochi University), Satoshi KUBOTA (Kochi University)
O-31	9:45-10:00	四国南西海域における稚サンゴの生残と成長	森 舞衣, 井筒 樹兵 (東海大学・海洋), 杉山 竜大 (東海大学・海洋), 高橋 諒 (東海大学・海洋), 橋本 啓吾 (東海大学・海洋), 目崎 拓真 (黒生研), 中村 雅子 (東海大学・海洋), 久保田 賢 (高知大・黒潮圏)
休 憩			
O-32	10:15-10:30	ミドリイシ属自然群体の短期間での高温耐性向上	酒井 一彦, SINGH Tanya (琉球大・瀬底研究施設), 井口 亮 (産総研・地質情報)
O-33*	10:30-10:45	Current report on Indo Pacific coral disease s assemblage and variation. Study case: Karimunjawa, Zamami Yoron Island	Dio DIRGANTARA (Univ. Ryukyus · Faculty of Science), Mariyam Shidha AFZAL (Univ. Ryukyus · Faculty of Science), Ruri HONDO (Univ. Ryukyus · Faculty of Science), Nozomi FUJIWARA (Univ. Ryukyus · Faculty of Science), Ayana HARADA (Univ. Ryukyus · Faculty of Science), Shota INOMATA (Univ. Ryukyus · Faculty of Science), Konomi TAKEICHI (Univ. Ryukyus · Faculty of Science), Rhesi KRISTIANA (Marine Research Organization · Bali, Indonesia), Kuswadi bin BUNADI (Karimunjawa National Park Office · Semarang, Indonesia), Takashi NAKAMURA (Univ. Ryukyus · Faculty of Science)
O-34*	10:45-11:00	Status of Sekisei Lagoon's Coral Reefs Five Years Post Bleaching Event of 2016.	Mariyam S. AFZAL (University of the Ryukyus), Konomi TAKEICHI (University of the Ryukyus), Kana IKEDA (Regeneration Network of the Sea in Yoron, NPO), Mitsuhiro UENO (Coral Reef Research in Sekisei Lagoon), Akira IGUCHI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)), Takashi NAKAMURA (University of the Ryukyus).

ポスターセッション / 小・中・高校生によるサンゴ礁研究ポスター発表 / サンゴ礁保全活動ポスター発表 11:30-13:30
Poster presentation/Poster presentation by Elementary, junior, and senior high school students Reef Conservation groups 11:30-13:30

【会場 / Location】 SpatialChat

口頭発表 ⑤ 13:45-14:45 / Oral presentation ⑤ 13:45-14:45

【会場 / Location】 Zoom

座長 (Chair) : 茅根 創

講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
O-35	13:45-14:00	「サンゴ年輪など年輪研究の環境モニタリングとしての役割と社会実装について」の調査研究	中村 修子 (笹川 海洋政策研, 慶應大)
O-36	14:00-14:15	英訳されたパラオ熱帯生物研究所の「科学南洋」について	佐藤 崇範 (琉球大・島嶼地域研), 村上 明男 (神戸大・理学研究科)
O-37	14:15-14:30	漁業者によるスリックを用いたサンゴの種苗生産の改良	金井 恵 (沖環科), 銘苅 宗一, 與那嶺 豊 (恩納村漁協), 長田 智史 (沖環科), 仲地 健次 (沖縄県自然保護課)
O-38	14:30-14:45	沖縄県サンゴ礁保全再生地域モデル事業のこれまでの取り組み	長田 智史 (沖環科), 大城 一幸 (沖縄県・自然保護課), 中村 良太 (水産土木), 嘉陽 則子 (ディープランニング), 仲地 健次 (沖縄県・自然保護課)

自由集会・オンライン企画② : 15:00-16:30 / Themed meeting, Online event ② : 15:00-16:30

【会場 / Location】 Zoom

オンライン企画②	15:00-16:30	喜界島サンゴロジー	喜界島サンゴ礁科学研究所
----------	-------------	-----------	--------------

授賞式・会員意見交換会 16:40-18:00 / JCRS awards ceremony · JCRS public meeting 16:40-18:00

【会場 / Location】 Zoom

16:40-18:00	授賞式・会員意見交換会
-------------	-------------

学術大会若手発表賞へエントリーされている発表には「*」が付いています。
The presentation entries to Presentation Award for young scientist is marked as "*"

ポスター発表 / Poster presentation

ポスター発表コアタイムは 奇数番号：11月28日 11:30-13:30、偶数番号：11月29日 11:30-13:30 です。学術大会若手発表賞へエントリーされている発表には「*」が付いています。

Core times for the poster session are 11:30-13:30 on Nov 28 (odd numbers) and 11:30-13:30 on Nov 29 (even numbers). The presentation entries to Presentation Award for young scientist are marked as "**"

番号 No.	発表題目 Title	発表者 (所属) Authors (Affiliation)
P-1	日本産トゲキクメイシ属の種同定基準の見直し	深見 裕伸, Thanapat Chukaew(宮崎大・農・海洋), 松本 尚(宮古島市立砂川小)
P-2	造礁性サンゴにおける遺伝子ノックダウン技術の確立と応用	湯山 育子(山口大・創成科学研究科), 樋口 富彦(東京大学・大気海洋研), 日高 道雄(琉球大学)
P-3	備瀬崎海域における硫化水素と栄養塩の動態	徳浜 すみれ(琉球大・院理), 藤村 弘行, 田中 厚子(琉球大・理), 前迫 峻佑(琉球大・理), 佐藤 陽一(理研食品), 伊藤 通浩(琉球大・熱生研センター), 小西 照子(琉球大・農), Gregory N. NISHIHARA(長崎大・環東シナ海センター)
P-4*	Four-year field survey of Black Band Disease and Skeletal Growth Anomalies in encrusting <i>Montipora</i> spp. corals around Sesoko Island, Okinawa	Rocktim Ramen DAS(Graduate School of Eng. and Science, Univ. Ryukyus), Haruka WADA(Graduate School of Eng. and Science, Univ. Ryukyus), Giovanni D. MASUCCI(Physics and Biology Unit, OIST・The Oceancy, Estonia), Tanya SINGH(Graduate School of Eng. and Science, Univ. Ryukyus), Parviz TAVAKOLI-KOLOUR(Graduate School of Eng. and Science, Univ. Ryukyus), Naohisa WADA(BRC, Academia Sinica), Sen-Lin TANG(BRC, Academia Sinica), Hideyuki YAMASHIRO(Graduate School of Eng. and Science・TBRC, Univ. Ryukyus), James Davis REIMER(Graduate School of Eng. and Science・TBRC, Univ. Ryukyus)
P-5	造礁サンゴにおける褐虫藻の多様性とサンゴ石灰化速度の関係	儀武 滉大(筑波大), 池内 絵里(産総研・地質情報), 中村 崇(琉大・理), 鈴木 淳(産総研・地質情報), 井口 亮(産総研・地質情報)
P-6*	ウミトサカ科のソフトコーラル5属における表在動物群集	當山 健斗(琉球大・院理工), 中村 崇(琉球大・理)
P-7*	Acclimation potential of coral juveniles under consecutive thermal stress	Sanaz HAZRATY-KARI(Univ. Ryukyus・Faculty of Science, Graduate School of Engineering and Science), Masaya MORITA(Univ. Ryukyus・Sesoko Station), Takashi NAKAMURA(Univ. Ryukyus・Faculty of Science, Graduate School of Engineering and Science, Univ. Ryukyus・Sesoko Station), Saki HARI(Univ. Ryukyus・Sesoko Station)
P-8*	高水温によるコピエダハマサンゴ <i>Porites cyrindrica</i> の繁殖への影響評価	伊野波 佳介(琉球大・院理), 栗原 晴子(琉球大・理), 磯村 尚子(沖縄高専・生物資源)
P-9 小中高生	野底のウミシヨウブ群落 14年間の観察記録	石本 愛利, 井上 誠貴, 大月 燕, 大堀 素也, 奥松 利桜, 又吉 咲那, 瓜生 幸吉(野底小5・6年生), 白岩 海(野底小教員), 大堀 健司, 大堀 則子(エコツアーふくみ)
P-10 小中高生	海中の地形が生物に及ぼす影響 (Conditions of Marine Ecosystems as determined by Topography)	竹田 莉穂(喜界島サンゴ礁科学研究所, 喜界小学校), 野尻 昊太郎(喜界島サンゴ礁科学研究所, 千葉市立打瀬中学校), 徳山 雄悟(喜界島サンゴ礁科学研究所, aiglon college), 林 哩央(喜界島サンゴ礁科学研究所, 秋田県立秋田高等学校), 山本 りら(喜界島サンゴ礁科学研究所, 国際基督教大学), 吉田 桃英(喜界島サンゴ礁科学研究所, Jamec Cook University), Frederic Sinniger(喜界島サンゴ礁科学研究所, 琉球大学)
P-11 小中高生	砂から生物多様性を探る	池田 雪流(新潟県立佐渡中等教育学校, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 徳山 将悟(ラ・サール学園中学校, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 山村 杏(白馬村立白馬北小学校, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 海老原 元紀(松戸市立相模台小学校, 喜界島サンゴ礁科学研究所), マリアン 龍(足立区立栗原北小学校, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 伊藤 広起(国際基督教大学, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 嶋田 姫由(立教大学, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 津田 和忠(宮崎大学, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 白井 厚太郎(東京大学大気海洋研究所, 喜界島サンゴ礁科学研究所)
P-12 小中高生	時を駆けるうみぼうずハンターズ～昔のサンゴ礁環境を調べよう	椎根 凜空(喜界島サンゴ礁科学研究所, 渋谷教育学園幕張高等学校), 大庭 怜央(喜界島サンゴ礁科学研究所, 中央大学附属高等学校), 玉利 彩葵(喜界島サンゴ礁科学研究所, 喜界中学校), 向井 康道(喜界島サンゴ礁科学研究所, 喜界中学校), 生駒 一花(喜界島サンゴ礁科学研究所, 西宮市立苦楽園小学校), 内山 遼平(北大・院理, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 駒越 太郎(喜界島サンゴ礁科学研究所)
P-13	産卵誘発に伴って発現が変化するタンパク質	神保 充, 稲葉 誠, 熊谷 祐貴子, 天野 春菜, 安元 剛(北里大・海洋), 山下 洋, 鈴木 豪(水産機構・水産技術研究所), 新里 宙也(東大・大気海洋研), 波利井 佐紀(琉球大学・熱帯生物圏研究センター)
P-14	<i>Chalinula nematifera</i> and other coral-associated sponges in Okinawan mesophotic reefs	Ritzelle L. Albelda(Graduate School of Engineering and Science, University of the Ryukyus), Frederic Sinniger(Sesoko Station, University of the Ryukyus), Yuji Ise(Sesoko Station, University of the Ryukyus), Saki Harii(Sesoko Station, University of the Ryukyus)
P-15 小中高生	喜界島の淡水環境に生息する生物相	反甫 将也(喜界島サンゴ礁科学研究所, 中央大学附属高等学校), 渡邊 翔太郎(喜界島サンゴ礁科学研究所, 札幌市立羊丘中学校), 藤原 潮路(喜界島サンゴ礁科学研究所, 調布市立第七中学校), 夏目 一郎(喜界島サンゴ礁科学研究所, 喜界町立喜界小学校), 村田ゆかり(喜界島サンゴ礁科学研究所, 始良市立漆小学校), 小山都照(喜界島サンゴ礁科学研究所, 北海道大・理学院), 脇谷 量子郎(喜界島サンゴ礁科学研究所, 東京大・大気海洋研究所)
P-16	ミドリイシ属サンゴの産卵時期決定の遺伝的基盤の解明にむけて	仮屋園 志帆(総研大・先導研), 井口 亮(産総研・地質情報), 寺井 洋平(総研大・先導研)
P-17	系統特異的遺伝子群が駆動するコモンサンゴの進化	善岡 祐輝(東大・大海研), 鈴木 豪(水産研究・教育機構), 座安 佑奈(OIST・MGU), 山下 洋(水産研究・教育機構), 新里 宙也(東大・大海研)
P-18	Various impacts of disturbances on coral communities in the southern Ryukyu Archipelago	Takashi NAKAMURA, Konomi TAKEICHI, Mariam Shidha AFZAL(Univ. Ryukyus・Faculty of Science), Akira IGUCHI(National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
P-19*	異なるポリブによる選択的な褐虫藻獲得へのレクチン ActL の関与	辰野 怜美, 神保 充, 天野 春菜, 安元 剛(北里大学), 鈴木 豪, 山下 洋(水産機構水産技術研究所), 波利井 佐紀(琉球大学)

P-20*	日本における完新世のサンゴ礁成長過程のメタ分析	小野 詩織, Marc HUMBLET (名古屋大・院環・地球惑星科学), 井龍 康文 (東北大学・院理・地球科学), 横山 祐典 (東京大学・大気海洋研究所)
P-21*	<i>Symbiodinium</i> 属褐虫藻の3つの系統に対する定量 PCR 法の開発	佐藤 太紀, 小池 一彦 (広島大・院統合生命), 山下 洋, 鈴木 豪 (水産機構・水技研)
P-22	閉鎖循環水槽におけるヤッコミドリイシの産卵事例	萬 倫一 (マクセルアクアパーク品川), 山口 彩伽 (マクセルアクアパーク品川), 小林 鉄郎 (八重山漁協サンゴ種苗生産部会), 木村 祐子 (AI ネット株式会社)
P-23*	サンゴに濃集される微量金属元素のリンを基準とした評価法	池上 晃平 (琉球大・院理), 藤村 弘行 (琉球大・理), 安田 直子 (沖縄工業高等専門学校), 樋口 富彦, 宮島 利宏 (東京大・大海研), Sylvain Agostini (筑波大学・生命環境系), 湯山 育子 (山口大・創成), 中村 隆志 (東工大・環境・社会理工)
P-24 小中高生	サンゴの島の考古学調査隊	中川 玲奈 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 清泉女学院), 杉保 俊 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 喜界中学校), 鈴木 杏菜 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 南アルプス子どもの村小学校), 白井 幸之助 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 柏市十余二小学校), 椛島 賢斗 (喜界島サンゴ礁科学研究所), 松原 信之 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 喜界町埋蔵文化財センター) 付き添い人: 椛島 賢斗 (かばしまけんと, NPO 法人喜界島サンゴ礁科学研究所)
P-25*	沖縄県恩納村の海水温の異なるサンゴ礁間でのサンゴ群集組成及びコクビミドリイシの遺伝的組成とエピジェネティクス反応の比較	広松 采夏 (琉球大・理工学研究科), 井口 亮 (産総研・地質情報), 酒井 一彦 (琉球大・瀬底研究施設)
P-26	環境移送技術 "MONIQUA" の可能性 -人工サンゴ礁生態系の構築	栗田 雄基 (株式会社イノカ), 神田 直樹 (株式会社イノカ), 高野 慎太郎 (株式会社イノカ, 株式会社 Makership), 高倉 葉太 (株式会社イノカ), 増田 直記 (株式会社イノカ), 竹内 四季 (株式会社イノカ), 上杉 一馬 (株式会社イノカ, 東京大学大学院 農学生命科学研究科), 勝西 菜子 (株式会社イノカ), 河野 元気 (株式会社イノカ), 櫻庭 知帆 (株式会社イノカ), 立田 侑馬 (株式会社イノカ), 守屋 輝一 (株式会社イノカ), 藤瀬 里紗 (株式会社イノカ), 広島大学大学院 統合生命科学研究所)
P-27 小中高生	コドラート法を用いた喜界島のサンゴと海藻の被度の比較	池田 雪流 (新潟県立佐渡中等教育学校, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 駒越 太郎 (喜界島サンゴ礁科学研究所), 山崎 敦子 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 九大・院理), 渡邊 剛 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 北大・院理)
P-28 小中高生	喜界島の白水とハワイビーチの海水から見たサンゴの生息環境の違い	野尻 昊大郎 (千葉市立打瀬中学校, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 駒越 太郎 (喜界島サンゴ礁科学研究所), 山崎 敦子 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 九大・院理), 渡邊 剛 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 北大・院理)
P-29 小中高生	サンゴ礁の再生可能エネルギーによる発電	橋本 昊 (常盤台小学校, 喜界島サンゴ礁科学研究所), 駒越 太郎 (喜界島サンゴ礁科学研究所), 山崎 敦子 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 九大・院理), 渡邊 剛 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 北大・院理)
P-30 小中高生	姫川のマイクロプラスチック調査	山村 杏 (白馬村立白馬北小学校), 駒越 太郎 (喜界島サンゴ礁科学研究所), 山崎 敦子 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 九大・院理), 渡邊 剛 (喜界島サンゴ礁科学研究所, 北大・院理)
P-31*	ミドリイシ属サンゴへの日焼け止め料中の紫外線防御成分の影響評価	芝田 桃子, 渡辺 恵悟, 杉江 祐太, 紺野 義一, 水野 誠 (株式会社コーサー), 金城 浩二 (有限会社海の本種), 中野 義勝 (OIST・マリンサイエンス)

自由集会・オンライン企画

Mini-workshops, Online event

参加費
無料

自由集会① / Mini-workshop ①

サンゴ移植を巡る多様な視座—日本サンゴ礁学会「造礁サンゴの移植に関するガイドライン」の改正に向けて

日時：2021年11月27日 (土) 18:00~19:30

会場：Zoom

オーガナイザー：藤田 喜久 fujitayo @ okigei.ac.jp

(沖縄県立芸術大学 / サンゴ礁保全学術委員会委員長)

日本サンゴ礁学会は2004年に「造礁サンゴの移植に関するガイドライン」を策定・公表した。その後、国内外における数多くの研究・事業・活動によってサンゴ移植に関する科学的知見の蓄積が進み、また、移植に対する考え方や社会からの期待・要望も変化している。こうした状況を踏まえ、本学会のガイドラインについても見直しを行う必要があると考えられる。

本自由集会では、日頃よりサンゴ移植に関わる研究・活動等を行なっている演者を迎え、様々な立場からサンゴ移植について話題提供を行なっていただく。また、これを機に、サンゴ移植に対する本学会の基本的見解について議論の場を設ける。

自由集会② / Mini-workshop ②

喜界島サンゴロジー

日時：2021年11月29日 (月) 15:00~16:30

会場：Zoom

オーガナイザー：渡邊 剛、山崎 敦子、駒越 太郎

(喜界島サンゴ礁科学研究所) zaki @ kikaireefs.org

サンゴ礁科学は多様な視点から複雑系に挑むサイエンスで、これを“サンゴロジー”と表現する。サンゴ礁は研究分野の多様性が高いフィールドであり、喜界島サンゴ礁科学研究所にはサンゴ礁に関わる研究者が訪れ、情報交換や共同研究を活性化し、“サンゴロジー”を進める拠点となっている。本集会では、ユニークなサンゴ礁段丘と現生サンゴ礁生態系を有する奄美群島・喜界島を舞台に、サンゴ礁科学を発展させるための今後は議論する。

オンライン企画① Online event ①

サンゴ礁の研究室をオンラインで訪ねてみよう!

日時：2021年11月27日（土）18:00~19:30

会場：Zoom

オーガナイザー：日本サンゴ礁学会教育普及啓発委員会（担当：北野 裕子／中島 祐一／山崎 敦子）

サンゴ礁に興味のある小中高生を対象として、オンラインでサンゴ礁を研究している研究室をめぐるイベントを実施する。サンゴ礁の研究者による研究の紹介、事前に集められた質問や、当日の参加者からのサンゴ礁に関する疑問に研究者が答え、小中高生とともにサンゴ礁について語る時間を設ける。本イベントに参加することによりサンゴ礁に興味をもち、学会に参加する小中高生を増やすこと、その中から将来研究者を目指す小中高生を生み出すことを目的とする。

講師（予定）：深見 裕伸・佐々木 圭一・栗原 晴子

企画特設サイト：<https://sites.google.com/view/jcrs24event-edu>

イベント参加申し込み：<https://forms.gle/wb7gnEbUvN62Buo77>

公開シンポジウム Public Symposium

参加費
無料

サンゴ礁研究の最前線 - 地質から生態系まで -

日時：2021年11月28日（日）15時00分~17時45分

会場：Zoomにて開催

*今回はオンラインのみの開催となります

概要：

サンゴ礁学会での研究発表は主に生物系と地学系に分かれていますが、いずれの分野も両方向的にインスピレーションを受けながら融合的に発展する可能性を秘めています。今回はサンゴ礁を舞台に、地質から生態系まで幅広い研究内容にて先端を担っている研究者の方々にご講演頂きます。そしてサンゴ礁ならではの研究の未来について考える機会になればと思います。

演者および講演内容：

- 荒井 晃作（産業技術総合研究所）
「海洋地質学から見た沖縄島周辺のサンゴ礁の海の成立」
- 山野 博哉（国立環境研究所）
「サンゴ礁のリモートセンシング」
- 横山 祐典（東京大学大気海洋研究所）
「サンゴ骨格が記録する人新世の環境変化」
- 安元 剛（北里大学）
「サンゴの石灰化機構からみた陸域負荷の影響」
- 藤田 喜久（沖縄県立芸術大学）
「琉球列島の海底洞窟における生物多様性」
- 久保田 康裕（琉球大学）、塩野 貴之（琉球大学）、楠本 聞太郎（九州大学）
「サンゴ礁の生物多様性のマクロ生態学と保全計画」

主催：一般社団法人日本サンゴ礁学会

サンゴ礁関連本紹介

サンゴ礁関連の新しい書籍が、出版されましたのでご紹介いたします。ぜひ、ご一読を!



タイトル：

サンゴの白化
- 失われるサンゴ礁の海とそのメカニズム

著者：中村 崇・山城 秀之
出版：成山堂書店（出版月：2020/02）
ISBN：978-4-425-83111-1

サンゴ礁が死滅し、生態系が消失する危機に見舞われている。その生理学的メカニズムについて、さらにサンゴ礁保全にかかる課題を解説しています。

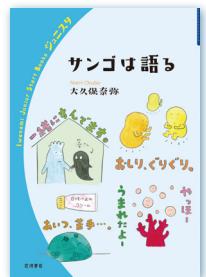


タイトル：

エビとカニの博物誌
- 世界の切手になった甲殻類

著者：大森 信
出版：築地書館（出版月：2021/06）
ISBN：978-4-8067-1622-8

原始の時代から様々な環境で生息してきたエビやカニの甲殻類は、その身近さから世界中で郵便切手に描かれ親しまれてきました。その生態や文化との関わりを解説しています。



タイトル：

サンゴは語る

著者：大久保 奈弥
出版：岩波書店（出版月：2021/05）
ISBN：9784000272377

サンゴ自身が一人称で語る形式をとり、サンゴの一生から、サンゴ礁を取り巻く環境や保全まで、子供たちにも理解できるようにやさしく解説しています。

編集後記
Editor's postscript

第24回大会は昨年に続き2回目のオンライン大会です。オンライン会議にも大慣れました。画面上の大会会場でお会いできるのを楽しみにしております。

編集担当 山下



日本サンゴ礁学会ニュースレター [2021年11月]
Newsletter of Japanese Coral Reef Society No.91

2021年11月15日発行

- 編集・発行人 / 「日本サンゴ礁学会広報委員会」
梅澤・座安・岨・田中(健)・中嶋・藤井(琢)・樋口・本郷・山本(将)・山下(洋)・湯山・和田
- 発行所 / 一般社団法人日本サンゴ礁学会 ● 事務局 / e-mail : info@jcrs.sakura.ne.jp FAX : 088-880-2284
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1 一般社団法人日本サンゴ礁学会